

団体名		社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会				
①	指標名	市民社協・地域社協のPR強化			目標値	市民社協ホームページリニューアル
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	—	—	—		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(7) 情報公開の更なる推進		
	設定理由等	・令和7年度からが計画期間となっている「第5次武蔵野市民地域福祉活動計画」の基本目標の一つに「地域の情報、福祉の情報が広がり、必要な人に届く武蔵野市にしよう!」があり、情報発信を強化していくことが掲げられている。 ・地域社協活動の担い手不足やそのことによる活動の休止という状況もでてきており、市民社協や地域社協の認知度の低さが担い手不足の要因の一つになっているため、周知活動に力を入れていく。				
事業内容	組	・地域活動の魅力ややりがいを発信することで市民の関心を高める。地域活動の魅力に関しては、令和6年度に地域社協運営委員に対しアンケート調査を実施しており、その調査結果の分析をおこなったうえで効果的な発信手法や内容を検討し、適切に実施する。 ・現在、イベント等の周知はチラシ等の紙媒体に加え、ホームページやFacebook・X・InstagramでのWEB媒体での発信を行っているが、紙媒体の配布が難しくなっている状況を踏まえ、新たな情報発信媒体を増やす。 ・福祉活動に関心のある人が情報を得やすいように、ホームページの構成を検討し、リニューアルを行う。				
	内容					
②	指標名	会費収入			目標値	2,850千円
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	2,909	2,758	2,824	6年度は5年度よりも会費収入は増加したが、複数年単位でみると減少が続いている。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	・収入のある事業として会費のほかには、寄付金、歳末たすけあい募金、広告料、バザー売上、チャリティゴルフ大会収益、自動販売機売上があるが、基本的に収益性のある事業は行っていないため、収入の増加を見込める対象事業が限られている。 ・「会員＝社協活動や地域福祉活動の理解者」と捉え、地域福祉活動のPRにも取り組み、地域福祉活動の協力者の拡大も目指す。				
財務内容	組	・わかりやすい会員メリットの提供のため、会員優待サービス協力企業を増やす。 ・会員を対象に実施している「七夕のつどい」の実施内容の見直しを行う。 ・クレジットカード決済について、SNSやWEB媒体でのPRを行う。				
	内容					
③	指標名	武蔵野市民社会福祉協議会発展・強化計画（令和8～13年度）の策定			目標値	計画の策定
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	—	—	—		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	・「第5次武蔵野市民地域福祉活動計画」の策定を受け、その実現に向けた事業や組織等における具体的な取組をまとめた「武蔵野市民社会福祉協議会発展・強化計画（令和8～13年度）」を策定する。 ・人材育成指針の策定検討を行ってきたが、これを単独の計画として策定することは馴染まないと判断し、「武蔵野市民社会福祉協議会発展・強化計画」において人材育成に関する事項も包含することとしたため、その内容も盛り込んで策定する。				
内部管理体制	組	・事業運営に関することと組織運営に関することについて、今後6年間で具体的に取り組むことを記載する。 ・事業運営における各事業の見直しにあたっては、職員による担当事業の振り返りや評価を行う。				
	内容					